

日本音楽集団

室内楽演奏会

尺八演奏者特集



宮田耕八朗



坂田誠山



三橋貴風



福田輝久



藤崎重康



尺八・構成

田嶋直士

一九七八年七月七日(金)

青山タワーホール

プログラム

1 和楽器室内交響曲(初演) ディヴィッド・ローブ作曲

篠笛…望月太八・藤崎重康 尺八…三橋貴風・宮田耕八朗・坂田誠山
三味線…太田幸子 琵琶…田原順子 箏…坂井敏子
二十絃箏…吉村七重 十七絃…砂崎知子
指揮…田村拓男

2 エクリプス 武満 徹 作曲

尺八…田嶋直士 琵琶…半田綾子

3 茉莉花 むいか 牧野由多可 作曲

尺八…三橋貴風 箏Ⅰ…吉村七重 箏Ⅱ…花房はるえ
十七絃…宮越圭子

4 尺八三重奏曲「鼎」 かなえ 松本雅夫 作曲

尺八Ⅰ…藤崎重康 尺八Ⅱ…福田輝久 尺八Ⅲ…田嶋直士

5 二十絃箏と尺八(フルート)のための二重奏曲 堀 悦子 作曲

二十絃箏…野坂恵子 尺八…坂田誠山

6 尺八協奏曲(初演) 長沢勝俊 作曲

尺八独奏…宮田耕八朗
笛…望月太八 尺八…福田輝久 三味線…杉浦弘和
琵琶…半田綾子 箏Ⅰ…砂崎知子 箏Ⅱ…花房はるえ
十七絃…宮越圭子 打楽器…尾崎太一・黒坂 昇
指揮…田村拓男

和楽器室内交響曲

「和楽器室内交響曲」を日本音楽集団のために、1976年の夏京都で作曲し、その秋ニューヨークで書き直した。昔の「管絃」にならってアンサンブルを管楽器と絃楽器5人ずつにわけた。

第1楽章は「管のテーマ」と「絃のテーマ」の両方があり、展開部でそれを発展させた。第2楽章はパッサカリア。第3楽章はロンド形式で終りの部分に第1楽章と第2楽章のテーマが再現されている。

(ディヴィッド・ローブ)

エクリプス

この曲は、まず「合奏の譜」から奏される。次に、「白の譜」と「黒の譜」。この「白」と「黒」を、どういう順序でどのように演奏するかは各奏者の意に任されている。

「白」の方は、独奏的で、輝きの性格を持つ。「黒」の方は、相手の奏者に対応する、翳りの性格。

つまり、光が、一方には映え、もう一方は遮られているという状態であり、あるいは、一方が膨らみ、他方が萎むという状態のようでもある。

「エクリプス」とは、「蝕」のこと。

今夜の奏者たちは、光と影のどんな世界を繰り広げるだろうか。

(松岡 美江)

四重奏曲「茱萸花」

日本音楽集団ができた年、そして洋楽系の作曲家たちが邦楽器を使った作品を多く書くようになってきた頃、1964年にこの茱萸花は生れた。

茱萸花とは、くちなしの花のように芳香を持つインド原産の白色の五弁花のことである。日本では「まつりか」とも言い慶長19年に渡来したといわれるが、この花を題材にした詩歌、物語は数多くある。

深みのある重厚な響きのする十七絃の独奏で始まり、尺八、箏のかけ合いが続く。再び最後に十七絃による長い独奏部分は、この曲のテーマであり、印象深いものとなっている。

(鶴野 和子)

尺八三重奏曲「鼎」

同質の尺八3本をいかにぶつけあうかがこの曲の課題となっている。3本足の銅の釜の煮えたぎっている様子と尺八の源であるシルクロードの激動的な歴史の様相がテーマに託されている。

序と5つの部分そして短かいコーダからなる。1969年に作曲された。

(鶴野 和子)

二十絃箏とフルート(尺八)のための二重奏曲

この作品は1969年に作曲され、同年の野坂恵子第2回箏リサイタルで初演された。このリサイタルは初めての二十絃のための演奏会で、5曲中4曲まで野坂が二十箏のために色々な作曲家に委嘱している。二十絃と共に歩み始めた彼女の意欲的な演奏活動の始まりの時期の作品である。

曲は律動的な中間部(フルートはC管)をはきんで、自由なリズムの導入部とコーダ(コントラ・アルト・フルート)からできている。全体に高音への上向で緊張感を高めながら、二十絃箏とフルートの幅広い表現力とテクニックを駆使して互いにぶつかり合う、燃焼度の高い二重奏曲と言えよう。

今夜は「その低音の叙情性、高音の鋭い現代性から、尺八で演奏してみてもおもしろいのではないか」と言う、この音楽会の構成者田嶋直士の試みで二十絃箏と尺八の二重奏として演奏される。尺八はフルートと同じ譜面で演奏されるわけだが、原曲に、更にどのような色合いが加味されるか、二奏者のからみ合いが楽しみである。

(霜島 素子)

尺八協奏曲

歌物、語り物を中心に発展してきた日本の音楽の中で、尺八は器楽としてその独自の道を歩んできました。この深い伝統を背負った尺八を用いて現代の作曲家はさまざまなイメージをもって挑戦してきました。この曲は現在までに書き続けてきた私の尺八観の延長線上にあるものであり、邦楽器群との交流の中で私のイメージする尺八の魅力をさらに拡大するよう、こころがけました。なお、このカデンツァは宮田耕八郎によるものです。

(長沢 勝俊)

邦楽器で合奏を楽しみませんか。

日本音楽集団第八回夏期合奏研究会締切迫る!!

○期間 前期8月1日(火)～4日(金)

後期8月4日(金)～7日(月)

○会場 北軽井沢ミュージックホール

詳しくは、本演奏会場の受付でパンフレットを差し上げていますので、お申し出下さい。

又は、日本音楽集団事務所へ60円切手を添えてお申し込み下さい。

日本音楽集団

東京都渋谷区神宮前6-16-14 小早川ビル

電話 03-409-5374(代)